

沖縄の子供達に雪をプレゼント



発行：沖縄二火会
(海上自衛隊第5航空群支援団体)
印刷：新栄印刷

令和7年2月17日(月)から21日(金)にかけて、第5航空群から沖縄県内(那覇市、石垣市)の児童施設や小学校の児童に対する「雪のプレゼント」が行われました。

この「雪のプレゼント」は、平成7年から行われており、第5航空群のP-3C哨戒機搭乗員が、青森県八戸航空基地での寒冷地飛行訓練を終え帰投する際に、雪を持ち帰り、沖縄県の各市町村教育委員会を通じて近隣の小学校に寄贈したのが始まりです。令和3年及び令和4年は、コロナ禍で一時的に中断されていましたが、令和5年から再開され、今年で通算28回目となります。

雪のプレゼントは、地域社会との交流を図ることにより、海上自衛隊の活動に対する理解を得ることを目的としています。何より、雪を見る機会がなかなか得られない沖縄の子ども達に、本物の雪を

「見る」「触れる」という体験を通じて、子ども達の感性を育む事の一助となればとの思いから実施されています。

今年は、那覇市のはぐくみ児童クラブ(参加者約80名)、石垣島の川原小学校(参加者約40名)へプレゼントされました。

この雪は、青森県の海上自衛隊八戸航空基地の隊員の協力を得て、那覇航空基地の隊員が採取したものであり、今回も、サラサラとした粉のような雪が採取できました。

雪をプレゼントした学校等の子ども達の多くは、初めて本物の雪に触る経験に、その冷たさと珍しさを喜ぶと同時に、雪をかけ合ったり、雪だるまを作ったりと大喜びでした。中には「かき氷にして食べたーい」と言う児童もいたそうです。

雪遊びも、雪が解けてしまうまで遊びつくし、ひと段落したところで、子ども達から、隊員に対し、

「ありがとう」や「楽しかった」などのお礼の言葉とたくさん笑顔が返されました。どちらかといえば、参加した隊員のほうが癒されています。

今後も、沖縄の子ども達のために、「雪のプレゼント」を続けて欲しいと思います。

雪の採取風景(青森県八戸市)



はぐくみ児童クラブ(那覇市)



川原小学校(石垣市)

第5航空群「音楽の夕べ」を開催

令和7年2月1日(土)、那覇文化芸術劇場なはーと(那覇市)において、海上自衛隊佐世保音楽隊の演奏による第5航空群「音楽の夕べ」が行われました。

開演に先立ち、第5航空群司令(海将補 平木 拓宏)から、「海上自衛隊佐世保音楽隊の演奏を聴きながら皆様との交流を更に深めさせていきたい」と思っており、本日は一緒に楽しみましょう。」との挨拶があり、佐世保音楽隊隊長(1等海尉長岡英幸)指揮のもと、第1部が始まりました。「マーチ王」で知られているアメリカの作曲家、J. P. スーザ作曲の行進曲「海を越える握手」の華々しい演奏が始まり、「バイレーツ・オブ・カリビアン・メドレー」など「海」にまつわる趣向を凝らした曲が演奏され、観客も



聴き入っていました。

第2部はポップなステージで、ソロ演奏やヴォーカル歌唱などが組み込まれました。「およげ! たいやきくん」をスウィングジャズにアレンジしたオリジナル楽曲や谷村新司の「チャンピオン」など子どもから大人まで幅広い年代の方々に知られている有名な曲を盛り込んだプログラムでした。アンコール曲は、沖縄では誰もが知る「唐船ドリー」で会場を沸かせ演奏は終了しました。

終演後は音楽隊員がロビーに出て来場された方々に対し手を振ってお見送り、ハイタッチや一緒に写真を撮るなど来場者とふれあう場面もありました。来場者は、満足そうに顔をほころばせて会場を後にしていました。

この演奏会は、毎年、第5航空群が主催で佐世保音楽隊の協力を得て実施されています。



基地モニター及び防衛モニター行事

令和7年3月7日(金)、

第5航空群において基地モニター会議、令和5年度委嘱基地・防衛モニター終了式が開催されました。



基地モニターとは、自衛隊に対する意見や要望等を聴取し、各地域に密着した広報活動を推進するとともに、部隊等における諸施策の改善・向上を図ることを目的とし、那覇航空基地周辺に住んでいる一般の方を対象とした海上自衛隊の制度です。

防衛モニターは、陸・海・空自衛隊に対して、基地モニターと同様の活動する防衛省の制度です。

第5航空群では、基地モニター15名、防衛モニター1名

が毎年度委嘱され、それぞれ任期の2年間で、第5航空群の活動の見学や行事等に参加し、意見や要望が聴取されています(防衛モニターは、海上自衛隊だけではなく、沖縄地区の陸、空自衛隊の活動や行事にも参加し、意見等が聴

取されています。)

基地モニター会議では、令和6年度の第5航空群の広報活動実績等について報告が行われたのち、令和5年度及び令和6年度委嘱基地モニターからの各種提言に基づき、今後の第5航空群の広報を含む活動のあり方について意見交換が行われました。

終了式では、令和5年度委嘱基地モニターには、第5航空群司令からの感謝状が、令和5年度委嘱防衛モニターには、防衛事務次官からの感謝状が授与されました。

終了式の後は、モニターと第5航空群指揮官等との会食が行われ、海上自衛隊カレールを堪能し、基地モニター及び防衛モニター行事は終了しました。





那覇航空基地 親和会クラブ活動紹介

バスケットボール部 第5整備補給隊 喜屋武3曹

那覇航空基地には、仕事の合間の余暇の時間を利用して活動する運動部及び文化部があります。

このコーナーでは、那覇航空基地のクラブ活動について紹介します。今回は、バスケットボール部を紹介します。



バスケットボール部は、今まで、バスケットボール同好会として隊員の融和団結を目的に活動していましたが、令和6年4月に「全自衛隊大会出場」を目標に那覇航空基地に在籍する隊員17名(女性隊員含む。)でクラブを結成しました。

部員は、同じ那覇航空基地内でも別の部隊、勤務場所から集まった隊員なので、まとまったチーム練習ができないのが悩みです。ですが、少人数でも創意工夫を凝らした練習を行い、概ね3ヶ月に1回の頻度で一般の大会に出場しています。

練習は、那覇航空基地の体育館で毎週木曜日17時30分～19時30分の間で行っていますので、那覇航空基地に勤務する隊員でバスケットボールをやりたい方は気軽に参加してください。

昨年の主な活動実績は、令和6年6月に開催された全自衛隊バスケット大会沖縄予選で、決勝戦まで進出しましたが、航空自衛隊

那覇チームに敗れ、「惜しくも準優勝」でした。

バスケットボール部の女性隊員は人数が少なく、海上自衛官だけではチームが作れないため、海上自衛隊那覇、航空自衛隊那覇の他、沖縄所在の各自衛隊の女性自衛官で、沖縄合同チームを結成して全自衛隊バスケット大会へ出場をしました。順調に全自衛隊大会本大会の準決勝まで進出、今年の優勝チームに大接戦の末に3点差で惜敗しました。初出場でも全自衛隊大会3位と予想以上の成績でした。

昨年は、沖縄地区予選や全自衛隊大会で予想以上の成績を残すことができましたが、今年は、更なる飛躍のためにも練習に励んで行こうと思います。

今年も6月末に開催予定の全自衛隊バスケットボール大会沖縄地区予選において、目標である「優勝」を達成し、大会の後は、美味しいお酒を楽しみたいと思います。

那覇航空基地バスケットボール部に、ご声援をお願いいたします。



令和6年度第5航空群 消火栓操法競技



令和7年3月6日(木)、第5航空群において令和6年度消火栓操法競技が行われました。

この競技は、基地で火災が発生した場合に備え、消火栓の扱い方、火災の消火法に習熟するため、各隊の代表が、日頃の訓練で培った技能を競い、毎年、実施されています。

競技は、建物内の折れ曲がった廊下の先の消火をするという設定で、火災に見立てた標的を水圧で倒すまでの時間とホースの展張要領、指揮官の適切な指示、号令等が採点されます。

結果は、第5整備補給隊からのチームが、2位チームとの差わずか1点で優勝しました。



那覇航空基地自衛官ファミリー



質問事項

- ① 職種(仕事内容)
- ② 出身地
- ③ 出会った場所(部隊)
- ④ 同じ基地内で勤務
しての感想
- ⑤ お互いに一言!
(感謝や要望等)

このコーナーでは、海上自衛隊那覇航空基地内で勤務する「夫婦」「親子」「兄弟・姉妹」にスポットをあて「自衛官ファミリーの絆」を紹介します。

第9回目は、第5整備補給隊で勤務する井久保夫妻の紹介です。

第5整備補給隊 井久保♡夫妻



① 【夫】航空機体整備…職種はP-3C哨戒機の腐食管理やタイヤ、機器等の整備などを行う航空機体整備です。腐食管理とは、航空機の悪いところを除去し再発しないように綺麗にする歯医者のような仕事です。ちなみに私は人の心も綺麗にすることが出来ます！(笑)

② 【妻】航空発動機整備／整備補給統制班(現配置)…職種はP-3C哨戒機のエンジンやプロペラの交換、整備を行う航空発動機整備です。現在は整備補給統制班の航空機使用計画掛に勤務しており、ここではP-3C哨戒機の使用計画の作成、エンジン等の使用実績の記録及び集計をしています。

③ 【夫婦とも】鹿児島県海曹予定者課程(佐世保教育隊)で出会いました。

④ 【夫】同じ基地にいるからこそその仕事の話などをしますが、妻の仕事の知識量がとても豊富なので話を聞かされた時にとても勉強になります。仕事だけじゃなくプライベートでもしっかりとっているのでも助かります。

⑤ 【妻】お互いに職種は違いますが、同じ航空機に携わる職種だからこそできる話があるため、とても勉強になります。また同じ基地に勤務しているため、共通の知人ができ、公私ともに充実した生活が過ごせています。

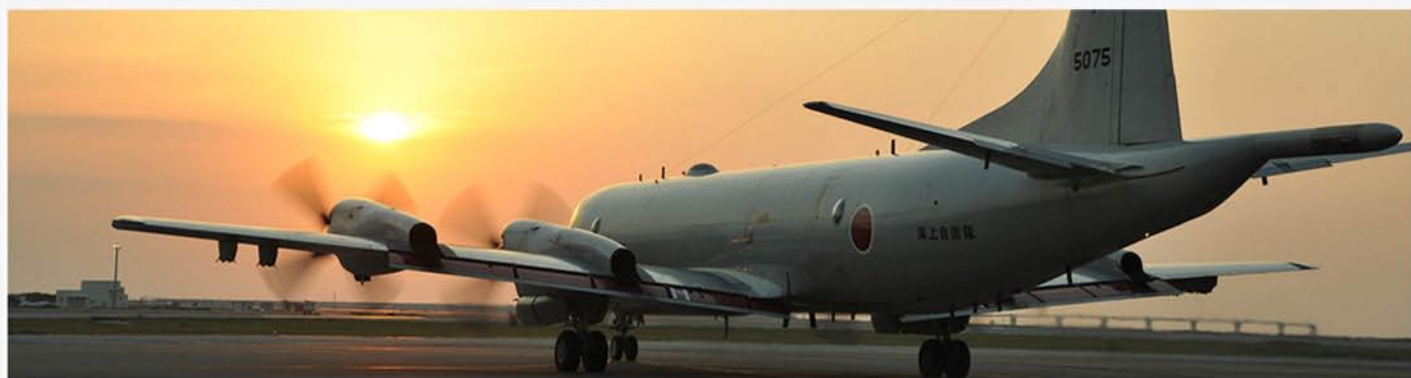
⑥ 【夫から妻へ】いつもおいしいご飯やお弁当を作ってくれてありがとう。

⑦ 【妻から夫へ】これからもこんな俺だけよろしくね！サランヘヨ。イッヒリーベディッヒ。

— LOVE YOU —

【妻から夫へ】いつも私のわがままを聞いてくれて、どんなときも優しくしてくれてありがと。

これからもいろんな冗談で笑いあって、楽しい毎日を過ごしていこうね！



『二十歳を迎えた隊員に対する激励会』について

第5航空群先任伍長 海曹長 金城 浩次

令和7年1月30日(木)



海上自衛隊那覇航空基地で、二十歳を迎えた隊員に対する激励会を実施しました。今年度は、22名の隊員が二十歳を迎えました。これを機会に改めて「服務の宣誓」を行い、自衛隊の存在意義をより一層強く認識



を深めました。群司令からは「これからも親はもちろん目上の方や同期、お世話になった方々へ「孝行」の気持ちを忘れず、行動で敬意を示してもらいたい。」との訓示が述べられました。二火会をはじめ、各協力団体からは、二十歳を迎える隊員に激励品を頂きました。

二十歳を迎えた隊員を代表して、第5整備補給隊沖縄県出身の照屋瞬雅から「今日という日を無事に迎えることができたのは、家族、友人、職場の上司、先輩、同僚、周囲の皆様の支えがあったからです。今後も一社会人として、自衛官として自衛官の使命をより一層自覚し、微力ながらも力を尽くしていきます。」と謝辞がありました。

激励会の後は、隊員食堂において隊員と、二火会会長をはじめ、各協力団体等からの来賓と会食を実施し、楽しいひと時を過ごすことができました。



うちなんちゅ(沖縄出身)隊員紹介

第5整備補給隊 山里3曹(浦添市出身)



私は、平成24年に海上自衛隊に入隊しました。高校3年生の時、元々は公務員になりました。かつて市役所、裁判所事務官、防衛省事務官、国家公務員Ⅲ種(当時の名称)を受験しました。

ある日、学校帰りに友達が自衛隊を受験するために地方協力本部に話を聞きに行くと言うので私もついて行きました。

一緒に話を聞いていると、当時の広報官から「自衛隊も公務員で給料安定していて事務職もあるよ」と言われ受験しました。体力面、集団生活に不安がありましたが、同期隊員と切磋琢磨し教育隊を修業することができました。

教育隊修業後は、第5整備補給隊の機側整備隊に着任し、航空機整備員としてP-130哨戒機の動翼、着陸装置、ボンベイドアなど飛行中に動かす構成品の整備、機体の胴体や翼面、窓や空調設備などの点検を行って

います。

現在は、第5航空群司令部広報室員として、



軽音楽部活動

基地見学の受け入れの準備、案内などを主に担当しています。

色々な職業の方や学生達と関わる機会が多く過ごしています。

また、第5航空群公式SNSの発信及び広報ラジオ「美ら海の防人」の収録にも携わっております。



ラジオ収録操作員

課業後は、第5航空群軽音楽部に所属しており、各種イベントに向けて練習しています。また、学生時代は吹奏楽部に所属し今でも社会人の吹奏楽団に所属して夏の吹奏楽コンクールに向けて第2の青春真只中です。

最後に今後の目標ですが、SNSや広報ラジオ、広報誌などあらゆる手段を駆使して、より多くの人に海上自衛隊のことを理解してもらえるように、様々なイベントや情報の発信、昨年は実施できなかった生活体験を今年は企画しておりますので、多くのご応募お待ちしております。

持久走競技会



令和7年2月17日(月)～2月20日(木)第5航空群では、持久走競技会(3km走)が行なわれました。海上自衛隊では、毎年度、体力練成の一環として、持久走訓練を行ない、その訓練の成果を持久走競技会で競い合っています。

参加した隊員の中には、前日に「おきなわマラソン(フルマラソン)」に参加したばかりで、その翌日に、持久走競技会も走ると言う、「ちゅーばー」(※沖縄の方言で強者の意味)の隊員もいたそうです。

2月にしては、晴れ間の見える暖かな気候の中、皆、完走しました。



海上自衛隊

職種紹介

このコーナーでは、第5航空群の隊員及び職種について紹介します。

海上自衛隊は、主として「海」を行動の場としています。周囲を海に囲まれた我が国にとって、海の安全を守ることは非常に重要であり、海上自衛隊は、日夜、日本周辺海域において、警戒・監視等に従事しています。

今回紹介する職種のほかにも、航空管制員や調理員、電子整備員など、多数の職種があり、全33職種で約50種類の業務が行われています。

今回はその中から、第5航空群司令部気象班で気象海洋員として勤務している隊員を紹介します。

質問事項

1 仕事内容

2 将来の目標

3 これからの将来を決めていく後輩たちへのメッセージ

気象海洋員・第5航空群司令部

内田 1 曹

①「海上自衛隊の艦艇、航空機の運航及び第5航空群で計画している訓練などについて、気象・海象の観点から支援することが任務となっています。主に第5航空群所属の航空機の運航、地上で行う航空機の整備作業に影響を与える気象現象及び施設の保安に影響する台風等の天候について把握し、情報共有を図り部隊運用に大きく関係する業務を行っています。」

②「通常、気象海洋員は観測業務を主として勤務しますが、第5航空群司令部では、予報官が行う気象予察についても理解し、航空機の安全運航を目的にタイムリーに情報を提供する必要があります。このため、将来は気象予報士の資格を取得し、航空基地で気象予報官として勤務することを目標にしています。また、私生活では50代後半まで海上自衛官として勤務できるよう体力作りに取り組んでいます。」

③「自衛官は、きつい、厳しいといった印象で入隊を決断できない方もいらっしゃるかと思います。」

私が入隊したきっかけは、高校3年生の時、阪神淡路大震災で活動



「気象ブリーフィング」



「余暇の充実」

する自衛隊員の姿を報道で観て、感銘を受けたことでした。入隊から30年が経ち、これまで海外での交流をはじめ、災害派遣など入隊していなければできない経験を数多くしてきました。自衛隊は規律を重んじ、同じ目標に向け仲間と助け合い、使命を達成していく組織です。

私は海上自衛隊に入隊し、多少辛く困難なこともありましたが、これらを仲間とともに乗り越え、達成感や充実感を感じることが自身が大きく成長できたと思います。さらに、私の心の支えとなっているかけがえのない仲間も、最大の財産となっています。

第5航空群では、ワークライフバランスをはじめ個人の充実にも取り組んでいます。私は、休日のほとんどを趣味のソフトテニスに費やしています。地域の皆さんとの交流を通じて、県民体育大会をはじめ年間約15試合程度大会に出場しており、とても充実した毎日を送っています。

将来の進路に迷っている方、自身の成長を信じ、人生を豊かにしてくれる仲間との出会いを楽しみに海上自衛官も選択肢のひとつとして検討してみてくださいいかがでしょうか。」



小禄中学校職場体験を実施して

司令部広報室 永井1尉

令和7年1月31日、第5航空群は、小禄中学校からの依頼を受け1年生11名に対し、職場体験学習を行いました。

職場体験学習は、キャリア教育の一環として、体験をとおして職業についての意識を高め、社会規範やマナーを身に付け、職業への関心や意欲を高めることを目的として、那覇市の中学校が行っている事業です。第5航空群では、海上自衛隊に対する理解の深化を図るとともに、第5航空群における様々な職業の体験を通じて学習の目的を達成できるように支援を行いました。

午前中は、海上自衛隊及び第5航空群の概要説明など、海上自衛隊を知る授業を行いました。昼食には、午前の説明の中にあつた職業の一つ、「給養

員」が腕によりをかけた、海上自衛隊カレーを大盛りで体験喫食してもらいました。

午後からは、航空機の整備体験として、高所作業、牽引車試乗、プレートへの刻印、プロペラ整備作業などを行いました。参加した生徒たちは、普段体験できない航空機の整備作業に目を輝かせて、取り組んでいました。

体験後の生徒のふりかえりには「海上自衛隊で職場体験をやつてよかった。」や「仕事をすると大変だなと感じた。」などのいろいろな感想をいただきました。職場体験学習の目的は達成したと思います。

今後も、「働く」ことへの意識の高揚に寄与していきたいと思っています。



航空集団司令官からの 自衛隊協力者への感謝状贈呈式

令和6年12月20日(土)沖縄二火会 奥村理事及び沖縄海友会 古波蔵理事、名嘉理事(令和7年3月27日(木)第5航空群司令より代理贈呈)へ沖縄県における「自衛隊に対する理解及び協力の推進」及び「防衛基盤の育成」の功績に対し、航空集団司令官(海将 金嶋 浩司)から感謝状が贈呈されました。



沖縄二火会 奥村理事



沖縄海友会 古波蔵理事



沖縄海友会 名嘉理事



SDFツアー(令和7年度入隊予定者部隊見学)を支援して

司令部広報室 今村曹長

第5航空群では、令和7年2月22日(土)、沖縄地方協力本部主催のSDFツアー(令和7年度入隊予定者部隊見学)の支援を行いました。

令和7年度の海上自衛隊への入隊予定者、その保護者及び家族等計26名が参加されました。

この企画は、入隊予定者等に対して、入隊・入校の不安の払拭を図るとともに、家族等に対しては、部隊見学等で、自衛隊への興味・関心の増大を図ることを目的としています。

当日は、教育隊入隊前に準備したほうが良いことや入隊後の生活、また、海上自衛隊の職種の説明を行い、那覇航空基地内の隊内の生活施設等の見学(居住施設、体育施設、厚生施設等)、若年隊員との懇談、隊員食堂で体験喫食を行いました。



居住施設見学



体験喫食



若手隊員との懇談



体育施設見学

若年隊員との懇談では、入隊予定者から、入隊後の訓練のことや、外出や休暇のこと、また生活環境のことなど様々な質問があり、隊員が丁寧に説明しました。

参加者からは、「未知の世界に踏み込む不安が解消された」、「海上自衛隊の職種も様々なものがあるのが分かった。」等の感想もありました。今後、当広報室では、海上自衛隊への入隊予定者や入隊を希望している募集対象者にSNS等を活用した情報発信を行っていききたいと思います。

オリンピックピックメダリストキヤラバン

令和7年1月23日(木)第5航空群に、自衛隊体育学校に所属するパリオリンピック近代五種競技に出場した、佐藤大蔵2等海曹と内田美咲3等陸曹が来訪し、スポーツに取り組む5空群の隊員、沖縄県内の学生を主対象とした種目紹介及び講話等が実施されました。

近代五種は馬術、フェンシング、水泳、それにランニングと射撃を組み合わせたレーザランの総合得点を競い合う競技です。

佐藤2曹は、青森県出身の30歳、護衛艦勤務の経験もある海上自衛官です。

水泳を生かせる仕事に就きたいと、高校卒業後に海上自衛隊に入隊し、その後、同じ海上自衛官であるお兄さんの勧めもあり、自衛隊体育学校の試験を受け入校。近代5種の教官からスカウトされ競技を始めたそうです。



講話を行う佐藤2曹



右から佐藤2曹、平木海将補、内田3曹

われた言葉を支えに、再びオリンピックを目指し、パリオリンピック初出場で近代五種競技として日本人初の銀メダルを獲得する快挙を達成しました。

内田選手は、埼玉県出身の26歳、高校時代に水泳のインターハイ出場時にスカウトされたことがきっかけで自衛隊体育学校に入校した陸上自衛官です。

自衛隊体育学校の決め手は、複数の競技をこなす近代五種に魅力を感じたこと、そして、社会人として競技を続けながら給与を得られる環境に魅力を感じたことだろうです。

パリオリンピックでは、残念ながら準決勝でB組の12位となり決勝進出はなりませんでしたが。

在沖米陸軍との語学交流に参加して

第5航空隊 又吉2曹



令和7年2月28日、在沖米陸軍第10支援隊群(トリイステーション)において、米陸軍兵士と海上自衛隊第5航空隊及び航空自衛隊南西高射群の隊員との語学交流が行われました。

この語学交流は、在沖米陸軍との交流を通して、お互いの文化を知り、日米間の親睦を深めることを目的とし、実施されているものです。

今回の語学交流において、初めて米陸軍所属隊員と交流をしました。米陸軍の勤務態勢等の概要等を聞き、海上自衛隊の職種以上に多種多様な職種に別かれていたり、転勤時期や臨時勤務、勤務体制も様々であることなどを学びました。

その他にも、プライベートな話として、沖縄での過ごし方やそれぞれの趣味や嗜好の話題で盛り上がり、好きなラーメン屋や美味しいレストラン、おス

メの居酒屋の話をしました。

また、映画やアニメなど有名な出演者のモノマネをしたりアニメのキャラクターのセリフを言ってみたりとシチュエーションをお互いに感じ取ること言葉の壁を越えて分かり合うことができることも体験できました。

英語は苦手でも共通の話題を見つけジェスチャー(身振り・手振り)を交えて会話を試みることで話も弾みあつという間に2時間を超える有意義な時間を過ごすことができました。

在沖米軍及び他自衛隊との交流や、ボランティア活動は、コロナ禍を境に一時期途絶えていましたが、徐々に復活してきており、こうした機会(チャンス)

が、隊員の見聞の広がり、グローバル化にむけた良い刺激に繋がります。意義だと思います。



肖像権保護のため不掲載



海上自衛隊の新キャラクター「カイジョウウジエイ鯛」です!

皆様!はじめまして!

この度、海上自衛隊の採用広報アンバサダーに就任しました「カイジョウウジエイ鯛」と申します。よろしくお願いたします。

SNSや動画サイト等で、各種コンテンツを発信していますので「鯛くんの航海日誌」からアクセス待ってまーす。

プロフィール

- 溺れていたところを海上自衛隊に助けられ、お礼に広報活動をすることにした鯛
- 海自のことをみんなに正しく知ってもらいたいと思っている。
- 泳ぐのは苦手らしい。
- 鯛と言っているが、鯛かどうかは怪しい。
- お腹の海自マークは自分で描いた。

鯛くんの航海日誌

採用広報アンバサダーとして活動開始!

なぜアンバサダーに?

嵐で迷子になっていたところを海上自衛隊さんに助けられ、その恩返しのため、勝手に採用広報アンバサダーとして昨年末から活動を開始。後に正式に認めてもらい「カイジョウウジエイ鯛」と命名してもらったんだ。



助けもらった時のポク



採用広報アンバサダーとして活動してもらった時のポク



カイジョウウジエイ鯛の活動の様子



SNSで毎日発信する

もっと知って、もっと好きになってもらうために。

カイジョウウジエイ鯛の意外な事実や仕事への理解につなげるコンテンツを発信中!



カイジずかんをつくる

海上自衛隊=海のいきもの!

海上自衛隊さんのことを楽しく知ってもらうために、「海のいきもの カイジョウウジエイ鯛」という図鑑を作ったんだ。それぞれどんな生き物がモチーフになっているか確認してみてね!



インタビュー記事をつくる

SNSでは語り尽くせない魅力を発信!

ポクがインタビューに答えたり、就活生と実際のカイジさんが対談した記事を作ったんだ。



ミュージックビデオをつくる

ポク、歌手デビュー!

カイジさんの仲間たち、一挙49種を紹介!ポクと一緒にイカジャコリズムで、カイジいえるかな?



目標再生回数
1000万回
あと999万回!

採用ムービーをつくる

海上自衛隊が、就職の選択肢になるために。

カイジさんの仕事への理解を深めることができる映像を作ったんだ!



カイジさんのこと、
もっと気になった人へ。



カイジの仕事を見たい

「でいご」に関するご意見、ご感想、寄稿などがございましたら、沖縄二火会事務局または第5航空群広報室までご連絡ください。

個人情報保護
のため不掲載

■ 第5航空群広報室
那覇市市間 252
5aw-5230@ext.mso.mod.go.jp
☎ 098-857-1191 (内 5231)

※2023.2.5「沖縄二火会」WEBサイトを公開しました。(https://okinawa-nikakai.com)

※「でいご125号」は、令和6年12月から令和7年3月までの行事等を基準に掲載しています。

個人情報保護
のため不掲載